

ステンレス

ブローベース付き ものほし台

水・砂、注入式
ベース付き

S7-3BU

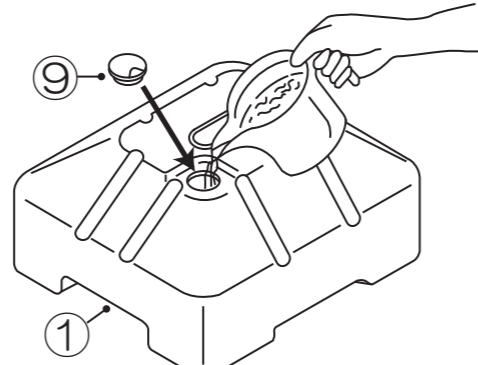
組立方法 ⊕ドライバーを準備して下さい。

●組立時の注意事項

- 組立は水平な場所で行って下さい。
- パイプの先端は危険ですので、絶対に触れないで下さい。
- パイプの差し込み時は、指づめに注意して下さい。
- 手袋（軍手）をして、組立して下さい。

1 <ベースの重さ> 1個あたり
水のみ・・・約17kg 砂のみ・・・約24kg 水+砂・・・約29kg

水又は砂を①ブローベースの注ぎ口まで入れ、⑨キャップをしっかりと、はめ込みます。

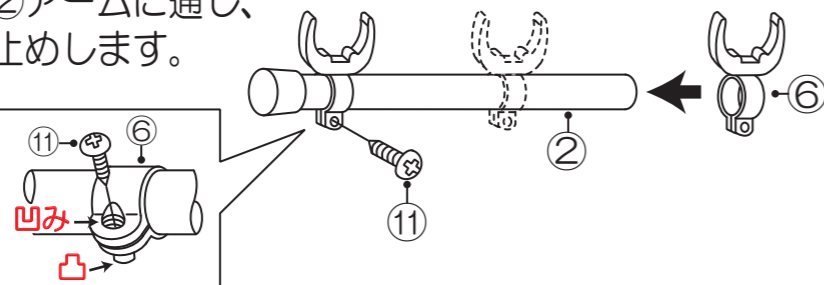


<注意>

- 安定感の良い、水と砂の両方を入れてのご使用をおすすめします。
- 寒冷地では、水が凍結しないよう、砂のみで使用して下さい。
- 水又は砂の注入が少ない場合は、転倒しやすくなりますので、注ぎ口までたっぷり入れて下さい。
- 転倒時の水もれ、砂もれに注意して下さい。
- 時々、水が減っていないか確認して下さい。減っている場合は補充して下さい。

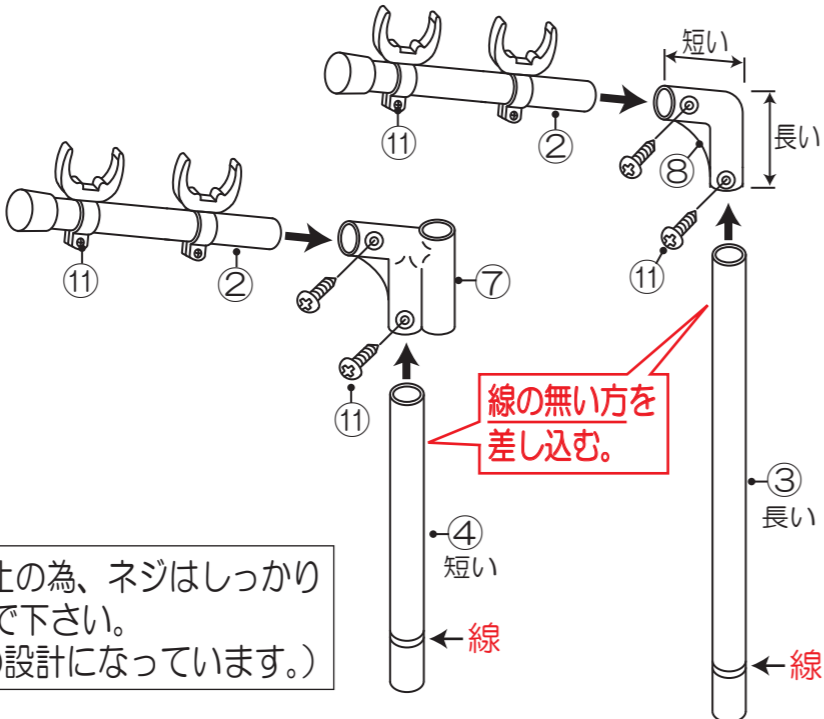
2 ⑥竿受けを②アームに通し、⑪ネジで仮止めします。

凹み側から
ネジ止め
します。



3 図のように、⑦L型ジョイント（大）に②アームと④上支柱（短）を、⑧L型ジョイント（小）に②アームと③上支柱（長）を奥まで差し込み⑪ネジで固定します。
⑥竿受けを垂直にし、⑪ネジを締め付けて固定します。

横から見た図
全ての竿受けを垂直に取り付けて下さい。



*グラツキ防止の為、ネジはしっかりとネジ込んで下さい。（少し固めの設計になっています。）

使用上のご注意

- ご使用前に、布で一度拭いて下さい。
- 耐荷重の範囲内で使用して下さい。
- 荷重は均等にかけ、急激にかけないで下さい。破損の心配のあるものや危険なものはかけないで下さい。
- 洗濯物が少量の場合や重いものを干す時は、支柱側の竿受けを使用して下さい。
- 十分な強度のある平坦な場所で、ものほし台が転倒しないように全体にバランス良く干して下さい。片側使用の場合は特にご注意下さい。
- 使用目的以外の遊戯器具等として、ぶら下がったり、ゆすったりしないで下さい。
- パイプの先端は危険ですので、絶対に触れないで下さい。
- パイプの差し込み時は、指づめに注意して下さい。
- 風の強い日の使用は避け、竿は取り外して床等に置いて下さい。
- 洗濯物を干したまま、移動しないで下さい。
- ブローベースは、水や砂を入れたまま移動しないで下さい。
- ブローベースに水を入れて使用する場合は、凍結しないように、冬期は凍結防止剤を入れてご使用下さい。また、水が腐敗しないように、時々入れ替えをして下さい。
- ブローベースに乗ったり、物をぶつけたりしないで下さい。また、設置時は、ゆっくりと置いて下さい。
- ものほし竿を、両側の竿受け具より、十分外側に出して（40cm以上）使用して下さい。
- ベランダで使用する場合は、万一竿が落ちて安全な様に、ベランダの十分内側に置いて下さい。また、中高層住宅での使用は、特にご注意下さい。
- 支柱は、必ずブローベースにさして使用して下さい。直接地面にさしての使用はしないで下さい。
- 火や熱いもののそばに置かないで下さい。
- 組立後も時々、ネジや差し込み部分のゆるみがないか点検して下さい。
- 屋外での長期保管や放置はお避け下さい。
- 樹脂部分にひび割れ等の劣化が現れた場合は、危険ですので使用しないで下さい。

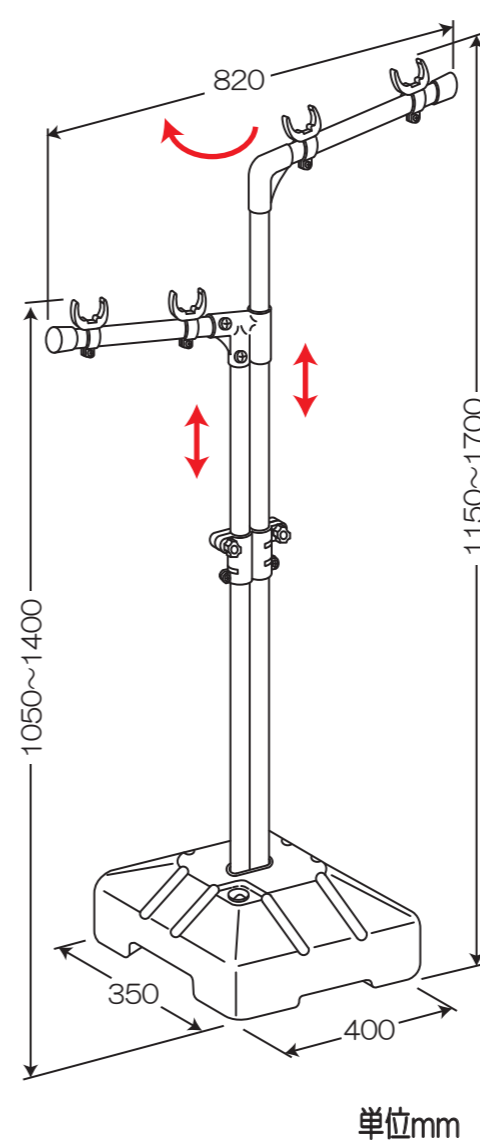


ぶら下がらないこと パイプの先端危険 差し込み時、指づめ注意

下記項目をよくお読みいただき、
正しくご使用いただきますよう、お願いいたします。

取扱説明書（組立後も取扱説明書を大切に保管して下さい。）

<組立完成図>

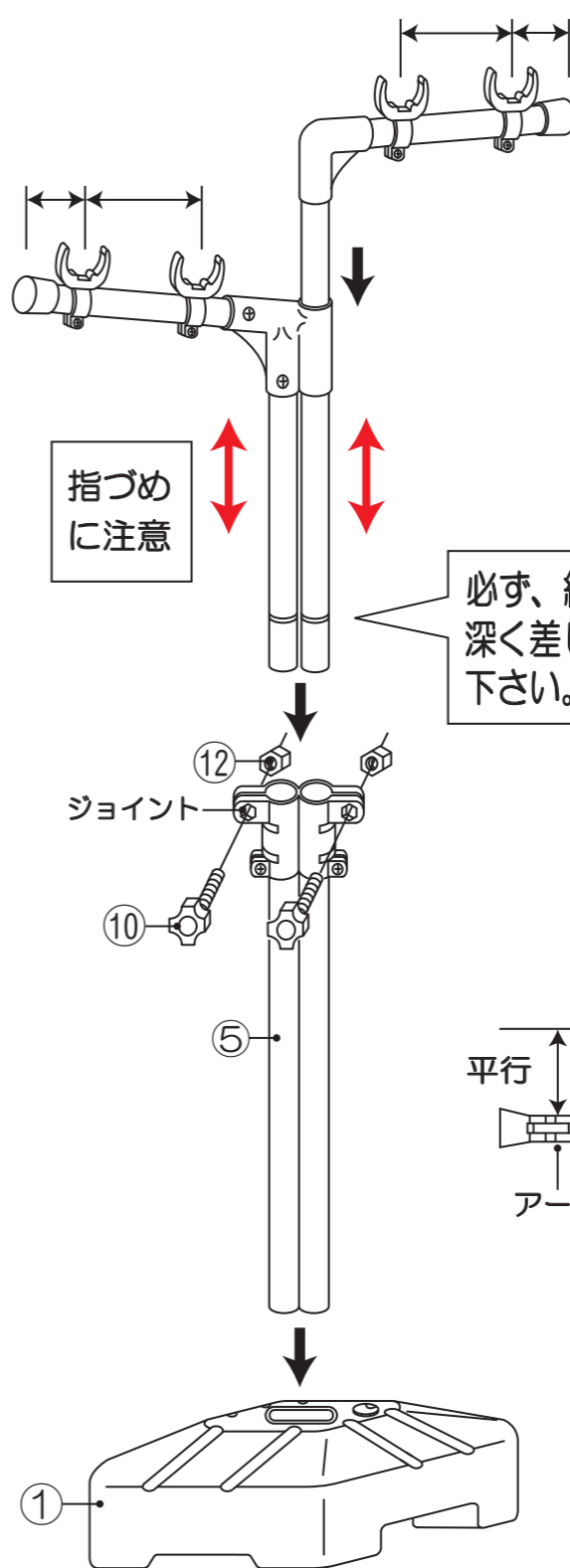


単位mm

セット内容 組立前に必ず部品をお確かめ下さい。

NO	品名	数	形	状
①	ブローベース	2		
②	アーム	4		
③	上支柱（長）	2		
④	上支柱（短）	2		
⑤	下支柱	2		
⑥	竿受け	8		
⑦	L型ジョイント（大）	2		
⑧	L型ジョイント（小）	2		
⑨	キャップ	2		
⑩	ノボルト	4		
⑪	ネジ	16		呼び径5×12mm
⑫	ナット	4		M6

4 ①ブローベースに⑤下支柱を奥までしっかりと差し込みます。上支柱を差し込み、⑤下支柱のジョイントの凹みに⑫ナットを入れ、上支柱のアームをブローベースと平行にして、高さを調節し、⑩ノボルトを締めつけて固定します。



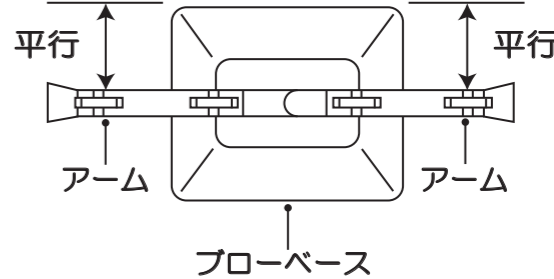
<注意>

両側の支柱の高さを平行にし、竿受けのピッチを同じに合わせして下さい。

指づめに注意

必ず、線よりも深く差し込んで下さい。

上から見た図



以上で組立は完了です。
もう一度すべてのネジを締め付け、支柱がベースの奥まで差し込まれているか確認して下さい。

お手入れ

- 定期的に、から拭きして下さい。
- 汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤（塩素系洗剤や酸性洗剤は使用しないで下さい。）で汚れを落とし、水でよく洗い流して下さい。
- ステンレスは、鉄粉や塩分が付着して“もらい錆”を起すことがあります。早期なら、やわらかい布にステンレス用クレンザーを付けてこすると簡単に取ることができます。

品質表示	
材質	ステンレス巻きパイプ 〔・ステンレス ・パネチスチール材〕
	樹脂
パイプ径	φ29mm、φ32mm
寸法	幅350×奥行820×高さ1700mm（ベース含む）
耐荷重	均等に干せる重さ 全体で30kgまで。 *耐荷重は、アームを両側にしてバランス良く干した場合です。



袋
小袋
マット

モリ工業株式会社

大阪市中央区西心斎橋2-2-3 ☎06-4708-1273

4967739 044049